

# 元気なまちかど



▲しめ縄作り挑戦する親子

甲南ふれあいの館で12月14日、体験教室に参加した17人が、昔から家庭で作られているしめ縄「七五三」作りに挑戦しました。この教室は、暮らしに根付いた年中行事を体験し、文化や昔の人の知恵に触れてもらおうと、同館を拠点に活動する「民具友の会」のメンバーが講師となつて毎年開催されています。

手作りのしめ縄で新年を

なつかしのふれあい体験教室

最初は苦労していた参加者も手のひらを使つてわらをよるコツを学び、本数を重ねることに上達。手作りのしめ縄で新年を迎えられることを楽しみにしていました。

## 宇津木さんが市内で指導

### 2014ソフトボールフォーラム in 滋賀・こうか

(公財)日本ソフトボール協会主催のフォーラムが12月20日、水口町で開催され、元ソフトボール女子日本代表監督の宇津木妙子さんによる実技指導と講演会が行われました。

実技指導には、五輪出場経験のある三科真澄さんらも参加し、県内の小学校から高校まで13チーム、約180人が投球や打撃、捕球動作などの指導を受けました。

宇津木さんは「上手くいかない原因を考え、努力を続けること」と繰り返し呼び掛け、最後に「チームプレーを大切に、相手を思いやる心をソフトボールを通じて学んでほしい」と伝えました。



▲宇津木さんの指導に全力でプレーする選手

●各部門の優秀賞受賞者は次の皆さんです。なお、全ての入賞作品は、市ホームページに掲載しています。

一般の部／中谷勝巳（大阪府寝屋川市）  
嫁ぐ娘が言葉少なく伝え来る  
心の中の熱き挨拶

小学生の部／勝村若菜（貢生川小5年）  
くらやみでにぎる手と手こんなにも  
あたたかいとは知らなかったよ

中学生の部／木村幸奈（城山中1年）  
祖母のしわひとつの線がやさしさだ  
私の祖母はやさしさだらけ



▲中嶋市長から賞状を受ける受賞者

市では、「あいこうかうたプロジェクト」として、身近な風景や大切な人と思う気持ちを詠んだ短歌を募集し、3年目となる今回は、市内外から3千首を超える作品が寄せられました。

表彰式が12月21日、碧水ホールで約300人が参加して開催され、入賞した30首が発表されました。また、元NHKアナウンサーの加賀美幸子さんをお迎えし、記念講演会を開催しました。

身近な風景や大切な人と思う

気持ちを「うた」に込めて

## 障害者スポーツで市内選手が奮闘

### 第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」

11月1日から3日の3日間、長崎県で開催された第14回全国障害者スポーツ大会に市から4人が出場し、日ごろの練習の成果を発揮されました。

12月16日には、参加選手を代表し下川さん、山中さんが甲南庁舎に成績報告に訪れ、10年後に開催される滋賀県大会にむけて意気込みを話されました。

市から出場された方の記録は次のとおりです。

| 選手名              | 競技(種目名)           | 記録     |
|------------------|-------------------|--------|
| やまなかたいすけ<br>山中大輔 | 走り幅跳び             | 5m59cm |
| しもかわかずま<br>下川一馬  | 100m              | 12秒10  |
| おかゆうた<br>岡 佑汰    | 卓球                | 1位(4点) |
| にしむらひろみ<br>西村裕美  | フライングディスク(アキュラシー) | 8投     |



▲成績報告に訪れた下川さん(右)、山中さん(左)



▲手作りの料理を皿に盛りつけ

親子ふれあい食育講座が12月17日、かえで会館で開かれ、未就園児とその保護者7組14人がおせち料理づくりにチャレンジしました。かつお節からダシを取ったり、サツマイモを丁寧につぶしたりと、親子で協力し、手間を惜しまず心を込めた雑煮や栗きんとんなど、色とりどりの3品が完成すると、待ちかねた子ども達は頼張つて手作りの味を確かめました。

「ダシの取り方を教わったので家でも試したい。」と話すお母さんもあり、家庭の味にいうそう磨きがかかりそうです。

親子ふれあい食育講座

手間を惜しまず心を込めて

## “世界旅行” 気分に

### 甲賀市市制施行10周年記念市民協賛事業 国ふえす 2014 in KOKA ～うたっておどって冬のJIN～

甲賀市国際交流協会が主催する市最大の国際交流イベントが12月14日、碧水ホールで開催され、約千人の来場者で賑わいました。

会場には、各国の家庭料理や文化を紹介するブースなどが設けられ、来場者は、入口で発行されたパスポートを手に訪れ、“世界旅行” 気分を味わいました。

また、フィナーレでは、「it's a small world」を様々な言語で合唱するなど、この日出会った人は、国や言葉、文化の壁を越え、交流を深めることができました。



▲会場が一体となったフィナーレ